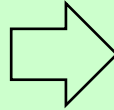


効率的な作業技術にカイゼンし生産安定性を確保 ～ 農事組合法人 メガファーム ～

経営体の概要

設立年度：平成27年度
基幹作物：きゅうり1.0ha、きく1.7ha
ほうれんそう1.0ha、すいか1.0ha
経営面積：自作地1.0ha、借地3.7ha



現在：令和3年度
基幹作物：きゅうり3.0ha、きく1.9ha
ほうれんそう2.0ha、すいか1.0ha
経営面積：自作地1.0ha、借地7.0ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

水稲と大豆の作業受託を中心としていた農事組合法人越前の構成員のうち6名が経理の明確化や意思決定の効率化を図るため園芸部門を独立して「農事組合法人メガファーム」を平成27年5月に設立。秋田県の園芸メガ団地整備事業を活用し施設等を整備した。また、長期出荷に対応した栽培体系、それに対応した出荷調整等の作業体系と労働環境の効率化を図り、販売額は平成29年から4年連続して目標額以上となっている。

営農改善のポイント

①栽培技術の確立・向上

きゅうり栽培では、施設、ネットハウス、露地を組み合わせる長期出荷ができる体系としている。また、ネットハウスによる栽培では、露地栽培に比べ殺虫剤の使用回数を1/3に削減できたほか、風によるスレ果、キズ果の減少により約2割増収している。ほうれんそう栽培（施設栽培）では、連作障害対策として土壌還元消毒を実施し安定した生産に効果を上げている。



ネットハウスでのきゅうり栽培



きくの露地栽培

②作業の効率化

全ての作物において熟練者と初心者が組作業とすることで、作業手順の早期習得を進めるとともにスケジュール管理を行っている。また、ほうれんそう及びきゅうりの栽培では、平成30年から「トヨタ式カイゼン」を取り入れ、長期出荷に対応した出荷調整の作業体系や労働環境の効率化に向けた作業計画等の見直しを行っている。



ほうれんそうほ場の土壌還元消毒

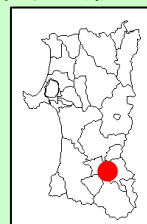
③地域への効果

地域の雇用場として、冬期以外では90名前後を雇用しており、地域経済の活性化に貢献している。

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：横手市、湯沢市及び大仙市
受益面積：10,183ha
事業期間：平成13年～平成27年
事業目的：用水改良
主要工事：頭首工2箇所、用水路L=29.5km

位置図（秋田県）



平鹿平野地区

<問い合わせ先>

東北農政局
農村振興部農地整備課
電話：022-263-1111
内線（4460, 4459）

（令和3年度調査時点）